

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	有明工業高等専門学校
設置者名	独立行政法人国立高等専門学校機構

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある 教員等による 授業科目の単位数				省令 で定 める 基準 単位 数	配 置 困 難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
	創造工学科エネルギーコース	夜・通信			16	16	7	
	創造工学科応用化学コース	夜・通信			18	18	7	
	創造工学科環境生命コース	夜・通信			18	18	7	
	創造工学科メカニクスコース	夜・通信			8	8	7	
	創造工学科情報システムコース	夜・通信			11	11	7	
	創造工学科建築コース	夜・通信			14	14	7	
	生産情報システム工学専攻	夜・通信			14	14	7	
	応用物質工学専攻	夜・通信			18	18	7	
	建築学専攻	夜・通信			16	16	7	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://syllabus.kosen-k.go.jp/Pages/PublicDepartments?school_id=44

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	有明工業高等専門学校
設置者名	独立行政法人国立高等専門学校機構

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページにて公表 https://www.kosen-k.go.jp/release/independence#link01

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
常勤	国立高等専門学校 理事（2024年4月1日～2026年3月31日）	2026年4月1日～2029年3月31日	理事長
常勤	文部科学省官房参事官（命）文部科学戦略官	2026年4月1日～2026年10月15日	総務
非常勤	東京大学教授	2026年4月1日～2028年3月31日	ダイバーシティ
常勤	東北大学工学研究科長	2026年4月1日～2028年3月31日	研究・産学連携 茨城工業高等専門学校校長兼務
（備考） 理事長は2024年3月31日まで九州大学大学院総合理工学府長・研究院長			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	有明工業高等専門学校
設置者名	独立行政法人国立高等専門学校機構

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 前年度の年末頃から、各教科担当教員が Web 上にてシラバスに掲載する事項(到達目標、ルーブリック、教育方法、授業計画、評価割合)を記入する。入力完了後に各コース・学科内の教員間で不備がないか相互確認の上、新年度開始と同時に Web 上で公開する。	
授業計画書の公表方法	https://syllabus.kosen-k.go.jp/Pages/PublicDepartments?school_id=44
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 「有明工業高等専門学校学業成績の評価並びに進級に関する規程」に則り、シラバスにて公表している授業内容・方法(講義の内容や課題の有無等)及び評価割合(試験や発表、ポートフォリオ等)に基づき、厳格かつ適正に学修成果を評価し、単位授与を行っている。	

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) ディプロマ・ポリシー及び「有明工業高等専門学校学業成績の評価並びに進級に関する規程」に基づき、本科においては、自然災害・高齢化社会などの現代の諸課題に柔軟に対応できる次のような技術者の育成を目的とした創造工学科の全課程を修了することにより、その学習・教育到達目標をすべて達成した者の卒業を認定し、卒業証書を授与する。 (1)幅広い工学に関する基礎知識と主体性を身につけた技術者 (2)専門工学に関する高度な知識と創造性に富み、実践力を身につけた技術者 (3)自己啓発・向上能力に富み、「ものづくり」を通して社会の発展に貢献できる技術者 (4)多様な価値観を理解し、学際的な技術分野で活躍できる技術者 (5)国際社会で活躍できる広い視野と教養をもつ技術者 卒業の要件は、全課程を修了（一般科目 75 単位以上、専門科目 82 単位以上、計 167 単位以上の単位を修得）であり、卒業判定会議の審議を経て、校長が卒業の認定を行う。 また、ディプロマ・ポリシー及び「有明工業高等専門学校専攻科の授業科目の履修等に関する規程」に基づき、専攻科においては、次のような創造性、多様性、学際性、国際性に富んだ高度な実践的職業技術者の育成を目的とした、専攻科の全課程を修了した人に対し、修了証書を授与する。 (1)物事を多面的に考察できる力、社会における技術者の責任を自覚できる高い倫理観、及び優れたコミュニケーション能力を備えた高度な技術者 (2)工学の基礎知識、工学の専門知識及び高度に融合された学際的知識を有し、実践力に富む高度な技術者 (3)課題の探求能力に優れ、またその課題を解決する方法を提案できる高度な技術者 修了の要件は、以下のとおりで、修了判定会議の審議を経て、校長が修了の認定を行う。 (1)専攻科の学習・教育到達目標を全て達成していること (2)専攻科の必修科目を全て修得していること (3)専攻科の必修科目と選択科目を併せて 62 単位以上を修得していること (4)原則として研究成果を学外に公表すること	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	学生便覧 p 28 https://www.ariake-nct.ac.jp/wp3/wp-content/uploads/2016/06/d2c5cd3acf761844fe423d1ea8810899.pdf 専攻科学生便覧 p 11 https://www.ariake-nct.ac.jp/wp3/wp-content/uploads/2016/02/c29d9d5b87e9048cae4a2c26a91b6fb3.pdf ディプロマ・ポリシー https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/3policy

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	有明工業高等専門学校
設置者名	独立行政法人国立高等専門学校機構

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページにて公表 https://www.kosen-k.go.jp/wp/wp-content/uploads/2025/06/zaimusyohyoR6.pdf (https://www.kosen-k.go.jp/release/independence)
収支計算書又は損益計算書	ホームページにて公表 https://www.kosen-k.go.jp/wp/wp-content/uploads/2025/06/zaimusyohyoR6.pdf (https://www.kosen-k.go.jp/release/independence)
財産目録	
事業報告書	ホームページにて公表 https://www.kosen-k.go.jp/wp/wp-content/uploads/2025/06/R6jigyohoukoku.pdf (https://www.kosen-k.go.jp/release/independence)
監事による監査報告(書)	ホームページにて公表 https://www.kosen-k.go.jp/wp/wp-content/uploads/2025/06/R6jikotennkennhyouka.pdf (https://www.kosen-k.go.jp/release/independence)

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:独立行政法人国立高等専門学校機構の年度計画 対象年度:令和8年度)
公表方法: https://www.kosen-k.go.jp/wp/wp-content/uploads/2025/03/r7-keikaku.pdf (https://www.kosen-k.go.jp/release/independence)
中長期計画(名称:独立行政法人国立高等専門学校機構の中期計画 対象年度:令和6年度から令和10年度)
公表方法: https://www.kosen-k.go.jp/wp/wp-content/uploads/2025/03/5th-keikaku.pdf (https://www.kosen-k.go.jp/release/independence)

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: https://www.ariake-nct.ac.jp/disclosure/inspection

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: https://www.ariake-nct.ac.jp/disclosure/evaluation-results

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 創造工学科 エネルギーコース
教育研究上の目的 (公表方法 : https://www.ariake-nct.ac.jp/department/energy)
(概要) (1) エネルギー関連工学に関する基礎学力及び基礎技術力を持つ技術者の育成 (2) エネルギーの発生・変換に関する知識と技術を駆使し、持続可能な社会を築くために貢献できる実践的技術者の育成 (3) エネルギー生産と消費の現状に関する知識を身に付け、エネルギー問題などの世界的社会ニーズに対応できる技術者の育成
卒業又は修了の認定に関する方針 (公表方法 : https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/3policy)
(概要) 自然災害・高齢化社会などの現代の諸課題に柔軟に対応できる次のような技術者の育成を目的とした創造工学科の全課程を修了することにより、その学習・教育到達目標をすべて達成した者の卒業を認定し、卒業証書を授与する。 (1) 幅広い工学に関する基礎知識と主体性を身につけた技術者 (2) 専門工学に関する高度な知識と創造性に富み、実践力を身につけた技術者 (3) 自己啓発・向上能力に富み、「ものづくり」を通して社会の発展に貢献できる技術者 (4) 多様な価値観を理解し、学際的な技術分野で活躍できる技術者 (5) 国際社会で活躍できる広い視野と教養をもつ技術者
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法 : https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/curriculum-data https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/3policy)
(概要) (1) 1 年次と 2 年次は創造工学科の 1 学科 5 クラス編成とし、一般教育科目および工学基礎科目でカリキュラムを編成。 (2) 2 年次後期からは、2 系 6 コースに分かれ、各コースの専門教育科目を実施。高学年になるほど専門教育科目の割合が増えていく。 (3) 専門教育科目には、系の基本である系共通科目と、各専門の基礎から応用まで学べるコース専門科目があり、コース専門科目には、専門教育の知識を得るための科目はもちろん、自ら能動的に、他の人と協力して課題解決に取り組む創造実践型の科目を設置。 (4) 一般教育科目には、社会系、国語系、外国語系のグローバル化に対応するための科目や数学、物理、化学などの自然科学系の教養科目を設置。 (5) 4 年次後期及び 5 年次には、コース専門科目に加えて卒業論文作成のための卒業研究を実施。
入学者の受入れに関する方針 (公表方法 : https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/3policy)
(概要) (1) ものづくりに興味がある人 (2) チャレンジ精神がある人 (3) 他の人と協力して作業ができる人 (4) 物事を粘り強く続けることができる人 (5) 社会に貢献したいと考えている人

学部等名 創造工学科 応用化学コース
教育研究上の目的 (公表方法：https://www.ariake-nct.ac.jp/department/applied-chemistry)
(概要) (1)応用化学に関する基礎学力および基礎技術力をもつ技術者の育成 (2)自然環境の諸課題に対する化学の役割を認識し、これらの解決に貢献できる実践的技術者の育成 (3)化学に関連する幅広い工学基礎知識を身につけ、環境問題などの地球規模の社会ニーズに対応できる技術者の育成
卒業の認定に関する方針 (公表方法：https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/3policy)
(概要) 自然災害・高齢化社会などの現代の諸課題に柔軟に対応できる次のような技術者の育成を目的とした創造工学科の全課程を修了することにより、その学習・教育到達目標をすべて達成した者の卒業を認定し、卒業証書を授与する。 (1)幅広い工学に関する基礎知識と主体性を身につけた技術者 (2)専門工学に関する高度な知識と創造性に富み、実践力を身につけた技術者 (3)自己啓発・向上能力に富み、「ものづくり」を通して社会の発展に貢献できる技術者 (4)多様な価値観を理解し、学際的な技術分野で活躍できる技術者 (5)国際社会で活躍できる広い視野と教養をもつ技術者
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法：https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/curriculum-data https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/3policy)
(概要) (1)1年次と2年次は創造工学科の1学科5クラス編成とし、一般教育科目および工学基礎科目でカリキュラムを編成。 (2)2年次後期からは、2系6コースに分かれ、各コースの専門教育科目を実施。高学年になるほど専門教育科目の割合が増えていく。 (3)専門教育科目には、系の基本である系共通科目と、各専門の基礎から応用まで学べるコース専門科目があり、コース専門科目には、専門教育の知識を得るための科目はもちろん、自ら能動的に、他の人と協力して課題解決に取り組む創造実践型の科目を設置。 (4)一般教育科目には、社会系、国語系、外国語系のグローバル化に対応するための科目や数学、物理、化学などの自然科学系の教養科目を設置。 (5)4年次後期及び5年次には、コース専門科目に加えて卒業論文作成のための卒業研究を実施。
入学者の受入れに関する方針 (公表方法：https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/3policy)
(概要) (1)ものづくりに興味がある人 (2)チャレンジ精神がある人 (3)他の人と協力して作業ができる人 (4)物事を粘り強く続けることができる人 (5)社会に貢献したいと考えている人

学部等名 創造工学科 環境生命コース
教育研究上の目的 (公表方法 : https://www.ariake-nct.ac.jp/department/life-environmental) (概要) (1)環境工学や生命工学に関する基礎学力及び基礎技術力をもつ技術者の育成 (2)生体分子及び生命現象を理解し、その知識を利用することで様々な地球環境問題に貢献できる実践的技術者の育成 (3)環境や生命に関連する幅広い工学基礎知識を身につけ、食糧問題などの多様化する社会ニーズに対応できる技術者の育成
卒業の認定に関する方針 (公表方法 : https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/3policy) (概要) 自然災害・高齢化社会などの現代の諸課題に柔軟に対応できる次のような技術者の育成を目的とした創造工学科の全課程を修了することにより、その学習・教育到達目標をすべて達成した者の卒業を認定し、卒業証書を授与する。 (1)幅広い工学に関する基礎知識と主体性を身につけた技術者 (2)専門工学に関する高度な知識と創造性に富み、実践力を身につけた技術者 (3)自己啓発・向上能力に富み、「ものづくり」を通して社会の発展に貢献できる技術者 (4)多様な価値観を理解し、学際的な技術分野で活躍できる技術者 (5)国際社会で活躍できる広い視野と教養をもつ技術者
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法 : https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/curriculum-data https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/3policy) (概要) (1)1年次と2年次は創造工学科の1学科5クラス編成とし、一般教育科目および工学基礎科目でカリキュラムを編成。 (2)2年次後期からは、2系6コースに分かれ、各コースの専門教育科目を実施。高学年になるほど専門教育科目の割合が増えていく。 (3)専門教育科目には、系の基本である系共通科目と、各専門の基礎から応用まで学べるコース専門科目があり、コース専門科目には、専門教育の知識を得るための科目はもちろん、自ら能動的に、他の人と協力して課題解決に取り組む創造実践型の科目を設置。 (4)一般教育科目には、社会系、国語系、外国語系のグローバル化に対応するための科目や数学、物理、化学などの自然科学系の教養科目を設置。 (5)4年次後期及び5年次には、コース専門科目に加えて卒業論文作成のための卒業研究を実施。
入学者の受入れに関する方針 (公表方法 : https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/3policy) (概要) (1)ものづくりに興味がある人 (2)チャレンジ精神がある人 (3)他の人と協力して作業ができる人 (4)物事を粘り強く続けることができる人 (5)社会に貢献したいと考えている人

学部等名 創造工学科 メカニクスコース
教育研究上の目的 (公表方法：https://www.ariake-nct.ac.jp/department/mechanics)
(概要) (1)機械工学に関する基礎学力及び基礎技術力をもつ技術者の育成 (2)人間社会と智能機械の共存による福祉社会の実現を認識し、インテリジェントな機械技術を駆使して社会に貢献できる実践的技術者の育成 (3)機械工学に関連する福祉工学やエレクトロニクスの基礎知識を身につけ、高齢化地域の社会課題に積極的な役割を担える技術者の育成
卒業の認定に関する方針 (公表方法：https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/3policy)
(概要) 自然災害・高齢化社会などの現代の諸課題に柔軟に対応できる次のような技術者の育成を目的とした創造工学科の全課程を修了することにより、その学習・教育到達目標をすべて達成した者の卒業を認定し、卒業証書を授与する。 (1)幅広い工学に関する基礎知識と主体性を身につけた技術者 (2)専門工学に関する高度な知識と創造性に富み、実践力を身につけた技術者 (3)自己啓発・向上能力に富み、「ものづくり」を通して社会の発展に貢献できる技術者 (4)多様な価値観を理解し、学際的な技術分野で活躍できる技術者 (5)国際社会で活躍できる広い視野と教養をもつ技術者
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法：https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/curriculum-data https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/3policy)
(概要) (1)1年次と2年次は創造工学科の1学科5クラス編成とし、一般教育科目および工学基礎科目でカリキュラムを編成。 (2)2年次後期からは、2系6コースに分かれ、各コースの専門教育科目を実施。高学年になるほど専門教育科目の割合が増えていく。 (3)専門教育科目には、系の基本である系共通科目と、各専門の基礎から応用まで学べるコース専門科目があり、コース専門科目には、専門教育の知識を得るための科目はもちろん、自ら能動的に、他の人と協力して課題解決に取り組む創造実践型の科目を設置。 (4)一般教育科目には、社会系、国語系、外国語系のグローバル化に対応するための科目や数学、物理、化学などの自然科学系の教養科目を設置。 (5)4年次後期及び5年次には、コース専門科目に加えて卒業論文作成のための卒業研究を実施。
入学者の受入れに関する方針 (公表方法：https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/3policy)
(概要) (1)ものづくりに興味がある人 (2)チャレンジ精神がある人 (3)他の人と協力して作業ができる人 (4)物事を粘り強く続けることができる人 (5)社会に貢献したいと考えている人

学部等名 創造工学科 情報システムコース
教育研究上の目的 (公表方法：https://www.ariake-nct.ac.jp/department/information-system) (概要) (1) 情報システムに関する基礎学力及び基礎技術力をもつ技術者の育成 (2) 情報システムの構築を通して人々の生活の質の向上に貢献できる実践的技術者の育成 (3) 情報システムとその周辺分野の知識を身につけ、人間社会の情報通信技術ニーズに対応できる技術者の育成
卒業の認定に関する方針 (公表方法：https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/3policy) (概要) 自然災害・高齢化社会などの現代の諸課題に柔軟に対応できる次のような技術者の育成を目的とした創造工学科の全課程を修了することにより、その学習・教育到達目標をすべて達成した者の卒業を認定し、卒業証書を授与する。 (1) 幅広い工学に関する基礎知識と主体性を身につけた技術者 (2) 専門工学に関する高度な知識と創造性に富み、実践力を身につけた技術者 (3) 自己啓発・向上能力に富み、「ものづくり」を通して社会の発展に貢献できる技術者 (4) 多様な価値観を理解し、学際的な技術分野で活躍できる技術者 (5) 国際社会で活躍できる広い視野と教養をもつ技術者
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法：https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/curriculum-data https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/3policy) (概要) (1) 1 年次と 2 年次は創造工学科の 1 学科 5 クラス編成とし、一般教育科目および工学基礎科目でカリキュラムを編成。 (2) 2 年次後期からは、2 系 6 コースに分かれ、各コースの専門教育科目を実施。高学年になるほど専門教育科目の割合が増えていく。 (3) 専門教育科目には、系の基本である系共通科目と、各専門の基礎から応用まで学べるコース専門科目があり、コース専門科目には、専門教育の知識を得るための科目はもちろん、自ら能動的に、他の人と協力して課題解決に取り組む創造実践型の科目を設置。 (4) 一般教育科目には、社会系、国語系、外国語系のグローバル化に対応するための科目や数学、物理、化学などの自然科学系の教養科目を設置。 (5) 4 年次後期及び 5 年次には、コース専門科目に加えて卒業論文作成のための卒業研究を実施。
入学者の受入れに関する方針 (公表方法：https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/3policy) (概要) (1) ものづくりに興味がある人 (2) チャレンジ精神がある人 (3) 他の人と協力して作業ができる人 (4) 物事を粘り強く続けることができる人 (5) 社会に貢献したいと考えている人

学部等名 創造工学科 建築コース
教育研究上の目的 (公表方法 : https://www.ariake-nct.ac.jp/department/architecture-course) (概要) (1) 建築に関する基礎学力及び基礎技術力をもつ技術者の育成 (2) 建築学と人間社会の関連を認識し、安全で、豊かで、魅力的な人々の生活環境を創造することに貢献できる実践的技術者の育成 (3) 建築学と関連工学分野の知識を身につけ、都市問題などの地域社会ニーズに対応できる技術者の育成
卒業の認定に関する方針 (公表方法 : https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/3policy) (概要) 自然災害・高齢化社会などの現代の諸課題に柔軟に対応できる次のような技術者の育成を目的とした創造工学科の全課程を修了することにより、その学習・教育到達目標をすべて達成した者の卒業を認定し、卒業証書を授与する。 (1) 幅広い工学に関する基礎知識と主体性を身につけた技術者 (2) 専門工学に関する高度な知識と創造性に富み、実践力を身につけた技術者 (3) 自己啓発・向上能力に富み、「ものづくり」を通して社会の発展に貢献できる技術者 (4) 多様な価値観を理解し、学際的な技術分野で活躍できる技術者 (5) 国際社会で活躍できる広い視野と教養をもつ技術者
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法 : https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/curriculum-data https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/3policy) (概要) (1) 1 年次と 2 年次は創造工学科の 1 学科 5 クラス編成とし、一般教育科目および工学基礎科目でカリキュラムを編成。 (2) 2 年次後期からは、2 系 6 コースに分かれ、各コースの専門教育科目を実施。高学年になるほど専門教育科目の割合が増えていく。 (3) 専門教育科目には、系の基本である系共通科目と、各専門の基礎から応用まで学べるコース専門科目があり、コース専門科目には、専門教育の知識を得るための科目はもちろん、自ら能動的に、他の人と協力して課題解決に取り組む創造実践型の科目を設置。 (4) 一般教育科目には、社会系、国語系、外国語系のグローバル化に対応するための科目や数学、物理、化学などの自然科学系の教養科目を設置。 (5) 4 年次後期及び 5 年次には、コース専門科目に加えて卒業論文作成のための卒業研究を実施。
入学者の受入れに関する方針 (公表方法 : https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/3policy) (概要) (1) ものづくりに興味がある人 (2) チャレンジ精神がある人 (3) 他の人と協力して作業ができる人 (4) 物事を粘り強く続けることができる人 (5) 社会に貢献したいと考えている人

学部等名 生産情報システム工学専攻
教育研究上の目的 (公表方法：https://www.ariake-nct.ac.jp/department/advanced-engineering)
(概要) (1) 高度科学技術社会、国際的なエネルギー問題、環境問題に対応できる論理的思考能力と解決能力を備えた実践的技術者の育成 (2) 准学士課程での機械、電気、情報工学の基礎的な知識と技術を基に、より高度に融合された機械・電気・情報分野の幅広い専門科目を修得した学際性を備えた実践的技術者の育成 (3) 高い倫理観をもち、幅広い視野と国際性を備えた実践的技術者の育成
卒業の認定に関する方針 (公表方法：https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/3policy)
(概要) 次のような創造性、多様性、学際性、国際性に富んだ高度な実践的職業技術者の育成を目的とした、専攻科の全課程を修了した人に対し、修了証書を授与する。 (1) 物事多面的に考察できる力、社会における技術者の責任を自覚できる高い倫理観、及び優れたコミュニケーション能力を備えた高度な技術者 (2) 工学の基礎知識、工学の専門知識及び高度に融合された学際的知識を有し、実践力に富む高度な技術者 (3) 課題の探求能力に優れ、またその課題を解決する方法を提案できる高度な技術者
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法：https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/curriculum-aec-data https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/3policy)
(概要) (1) 豊かな教養と多面的な考察力を身につけるため、技術者倫理を含む一般科目を設置 (2) 優れたコミュニケーション能力を身につけるため、日本語や外国語の科目のほかに、その能力を実践的に訓練する分野横断的なPBL（課題解決型学習）科目を設置 (3) 高度な実践力養成のため、充実した国内外インターンシップ（特別実習）を実施 (4) 工学の基礎知識を身につけるため、全専攻に共通した専門基礎科目を設置 (5) 工学における学際的な知識を身につけるため、「生産情報システム工学専攻」等の3専攻において複合的・学際的な科目を設置 (6) 深い専門性を身につけるため、少人数教育の専門科目や特別研究を設置
入学者の受入れに関する方針 (公表方法：https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/3policy)
(概要) 豊かな教養と幅広い専門知識、学際的・複合的視野と倫理観、創造性と実践力を身につけた、ものづくりのための高度な実践的技術者を育成することを目指し、次のような人を求める。 (1) 幅広い工学に関する基礎知識と主体性を身につけた人 (2) 専門工学に関する知識と創造性に富み、実践力を身につけた人 (3) 自己啓発・向上能力に富み、技術を通じ社会の発展に寄与できる人 (4) 多様な価値観を理解し、学際的な分野で活躍できる人 (5) 国際社会で活躍できる広い視野と教養を備えた人

学部等名 応用物質工学専攻
教育研究上の目的 (公表方法：https://www.ariake-nct.ac.jp/department/advanced-engineering)
(概要) (1) 科学技術やバイオテクノロジーの進展に対応しうる知識と技術をもち、これを化成品、材料、食品、医薬品などの開発、製造などに展開する能力を有する実践的技術者の育成 (2) 基礎的・専門的学力と学際領域にわたる幅広い知識を活用して、環境に配慮したものづくりができる実践的技術者の育成 (3) 工業生産活動におけるニーズとシーズを的確に捉える能力をもち、国際性を備えた実践的技術者の育成
卒業の認定に関する方針 (公表方法：https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/3policy)
(概要) 次のような創造性、多様性、学際性、国際性に富んだ高度な実践的職業技術者の育成を目的とした、専攻科の全課程を修了した人に対し、修了証書を授与する。 (1) 物事多面的に考察できる力、社会における技術者の責任を自覚できる高い倫理観、及び優れたコミュニケーション能力を備えた高度な技術者 (2) 工学の基礎知識、工学の専門知識及び高度に融合された学際的知識を有し、実践力に富む高度な技術者 (3) 課題の探求能力に優れ、またその課題を解決する方法を提案できる高度な技術者
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法：https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/curriculum-aec-data https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/3policy)
(概要) (1) 豊かな教養と多面的な考察力を身につけるため、技術者倫理を含む一般科目を設置 (2) 優れたコミュニケーション能力を身につけるため、日本語や外国語の科目のほかに、その能力を実践的に訓練する分野横断的なPBL（課題解決型学習）科目を設置 (3) 高度な実践力養成のため、充実した国内外インターンシップ（特別実習）を実施 (4) 工学の基礎知識を身につけるため、全専攻に共通した専門基礎科目を設置 (5) 工学における学際的な知識を身につけるため、「生産情報システム工学専攻」等の3専攻において複合的・学際的な科目を設置 (6) 深い専門性を身につけるため、少人数教育の専門科目や特別研究を設置
入学者の受入れに関する方針 (公表方法：https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/3policy)
(概要) 豊かな教養と幅広い専門知識、学際的・複合的視野と倫理観、創造性と実践力を身につけた、ものづくりのための高度な実践的技術者を育成することを目指し、次のような人を求める。 (1) 幅広い工学に関する基礎知識と主体性を身につけた人 (2) 専門工学に関する知識と創造性に富み、実践力を身につけた人 (3) 自己啓発・向上能力に富み、技術を通じ社会の発展に寄与できる人 (4) 多様な価値観を理解し、学際的な分野で活躍できる人 (5) 国際社会で活躍できる広い視野と教養を備えた人

学部等名 建築学専攻
教育研究上の目的 (公表方法：https://www.ariake-nct.ac.jp/department/advanced-engineering)
(概要) (1)計画・環境系あるいは構造・生産系のいずれかに重点を置いた高度な実践的技術を有する人材の育成 (2)建築界における諸問題を捉え、解決に導くための論理的思考能力や実践的技術センスを有する人材の育成 (3)建築分野のみならず、建築分野以外の領域にまたがる課題に対しても対応できる資質を有する人材の育成
卒業の認定に関する方針 (公表方法：https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/3policy)
(概要) 次のような創造性、多様性、学際性、国際性に富んだ高度な実践的職業技術者の育成を目的とした、専攻科の全課程を修了した人に対し、修了証書を授与する。 (1)物事多面的に考察できる力、社会における技術者の責任を自覚できる高い倫理観、及び優れたコミュニケーション能力を備えた高度な技術者 (2)工学の基礎知識、工学の専門知識及び高度に融合された学際的知識を有し、実践力に富む高度な技術者 (3)課題の探求能力に優れ、またその課題を解決する方法を提案できる高度な技術者
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法：https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/curriculum-aec-data https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/3policy)
(概要) (1)豊かな教養と多面的な考察力を身につけるため、技術者倫理を含む一般科目を設置 (2)優れたコミュニケーション能力を身につけるため、日本語や外国語の科目のほかに、その能力を実践的に訓練する分野横断的なPBL（課題解決型学習）科目を設置 (3)高度な実践力養成のため、充実した国内外インターンシップ（特別実習）を実施 (4)工学の基礎知識を身につけるため、全専攻に共通した専門基礎科目を設置 (5)工学における学際的な知識を身につけるため、「生産情報システム工学専攻」等の3専攻において複合的・学際的な科目を設置 (6)深い専門性を身につけるため、少人数教育の専門科目や特別研究を設置
入学者の受入れに関する方針 (公表方法：https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutanct/3policy)
(概要) 豊かな教養と幅広い専門知識、学際的・複合的視野と倫理観、創造性と実践力を身につけた、ものづくりのための高度な実践的技術者を育成することを目指し、次のような人を求める。 (1)幅広い工学に関する基礎知識と主体性を身につけた人 (2)専門工学に関する知識と創造性に富み、実践力を身につけた人 (3)自己啓発・向上能力に富み、技術を通じ社会の発展に寄与できる人 (4)多様な価値観を理解し、学際的な分野で活躍できる人 (5)国際社会で活躍できる広い視野と教養を備えた人

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法 : <https://www.ariake-nct.ac.jp/aboutnct/history-organization>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
－	7 人	－					7 人
	－	23 人	10 人	4 人	4 人	人	41 人
	－	11 人	6 人	3 人	4 人	人	24 人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0 人		29 人					29 人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法： https://research.kosen-k.go.jp/researcher-list					
c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関する事

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
創造工学科	200 人	202 人	101%	1000 人	1025 人	102.5%	若干名	4 人
生産情報システム工学専攻	12 人	11 人	91.7%	24 人	22 人	91.7%	人	人
応用物質工学専攻	4 人	5 人	125%	8 人	10 人	125%	人	人
建築学専攻	4 人	1 人	25%	8 人	7 人	87.5%	人	人
合計	220 人	219 人	99.6%	1040 人	1064 人	102.3%	若干名	4 人
(備考) 高知高専から創造工学科第3学年に1名転入学あり(編入学者数には含めていない)。								

b. 卒業者数・修了者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数・修了者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
創造工学科	197 人 (100%)	52 人 (26.4%)	144 人 (73.1%)	1 人 (0.5%)
生産情報システム工学専攻	16 人 (100%)	9 人 (56.3%)	7 人 (43.8%)	0 人 (0.0%)
応用物質工学専攻	5 人 (100%)	2 人 (40.0%)	3 人 (60.0%)	0 人 (0.0%)
建築学専攻	5 人 (100%)	0 人 (0.0%)	5 人 (100%)	0 人 (0.0%)
合計	233 人 (100%)	63 人 (28.3%)	159 人 (71.3%)	1 人 (0.4%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)
前年度の年末頃から、各教科担当教員が Web 上にてシラバスに掲載する事項（到達目標、ルーブリック、教育方法、授業計画、評価割合）を記入する。入力完了後に各コース・学科内の教員間で不備がないか相互確認の上、新年度開始と同時に Web 上で公開する。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)
有明工業高等専門学校学業成績の評価並びに進級に関する規程」に則り、シラバスにて公表している授業内容・方法（講義の内容や課題の有無等）及び評価割合（試験や発表、ポートフォリオ等）に基づき、厳格かつ適正に学修成果を評価し、単位授与を行っている。
本科卒業の要件は、全課程を修了（一般科目 75 単位以上、専門科目 82 単位以上、計 167 単位以上の単位を修得）であり、卒業判定会議の審議を経て、校長が卒業の認定を行う。
また、専攻科修了の要件は以下のとおりであり、修了判定会議の審議を経て、校長が修了の認定を行う。
(1) 専攻科の学習・教育到達目標を全て達成していること

(2) 専攻科の必修科目を全て修得していること (3) 専攻科の必修科目と選択科目を併せて 62 単位以上を修得していること (4) 原則として研究成果を学外に公表すること				
学部名	学科名	卒業又は修了に必要な となる単位数	G P A 制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
	創造工学科	167 単位	有・無	単位
	生産情報システム 工学専攻	62 単位	有・無	単位
	応用物質工学専攻	62 単位	有・無	単位
	建築学専攻	62 単位	有・無	単位
G P A の活用状況 (任意記載事項)		公表方法 :		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法 :		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法 : <https://www.ariake-nct.ac.jp/disclosure/educational-info>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
	創造工学科	234,600 円	84,600 円	144,600 円	・教科書代 33,000 円 ・教材費 102,000 円 ・寄宿料 (寮生のみ) 9,600 円
	生産情報システム 工学専攻				
	応用物質工学専攻	234,600 円	84,600 円	42,600 円	・教科書代 33,000 円 ・寄宿料 (寮生のみ) 9,600 円
	建築学専攻				

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 「グローバルに活躍できる技術者」の育成を実現するため、国際交流室を中心に海外インターンシップや学生交流などの海外派遣の情報を学生たちに提供、支援することで学生たちのグローバル意識向上や積極性を培っている。 また、海外の大学などからアカデミックインターンシップや学生交流による学生たちを受け入れ、学生のグローバル意識向上や積極性を培っている。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) 学生サポートセンターとして、キャリア支援室を設置し、各種進路セミナーや進路適正テストなどの進路支援活動を企画・実施することで、低学年のうちから職業観の高揚を図り、学生のキャリア育成を支援している。

c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組

(概要)

学生サポートセンターとして、学生相談室を設置し、カウンセラー（常勤）、スクールソーシャルワーカー（非常勤）、相談員（教員兼務）、学校医（非常勤）等を配置している。

自己の確立、社会性の育成を目標とし、学生からの悩みや心配事などの相談に応じ、コミュニケーション講座等多彩な催しを取り入れた活動を行っている。

また、いじめ防止にかかる基本方針を掲げ、いじめの防止、早期発見、適切な措置に努めている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：<https://www.ariake-nct.ac.jp/disclosure/educational-info>

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A 4 とする。

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード（13桁）	G140110111116
学校名（〇〇大学 等）	有明工業高等専門学校
設置者名（学校法人〇〇学園 等）	独立行政法人国立高等専門学校機構

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生（内数） ※家計急変による者を除く。		144人（ 92）人	140人（ 87）人	149人（ 97）人
内 訳	第Ⅰ区分	34人	36人	
	（うち多子世帯）	（ 一人）	（ 一人）	
	第Ⅱ区分	14人	12人	
	（うち多子世帯）	（ 一人）	（ 一人）	
	第Ⅲ区分	19人	19人	
	（うち多子世帯）	（ 一人）	（ 一人）	
	第Ⅳ区分（理工農）	0人	0人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	25人	20人	
	区分外（多子世帯）	52人	53人	
家計急変による 支援対象者（年間）				0人（ 0）人
合計（年間）				149人（ 97）人
（備考）				

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	人	0人	0人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が廃止の基準に該当）	人	0人	0人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	人	0人	-人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	人	0人	-人
計	人	0人	-人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	13人
訓告	0人
年間計	13人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限る、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
GPA等が下位4分の1	人	-人	0人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限る、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当	人	-人	0人
GPA等が下位4分の1	人	-人	19人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	人	-人	0人
計	人	-人	19人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。